

東芝カスタムヒーター(エアコン)用別売付属品 給排気筒キット

据付工事説明書

■ 通用機種

型式名	THU-FI43S(暖房専用)	別売りの冷房ユニットを組み込む場合は冷房ユニットの工事説明書をご覧ください。
	THU-FI43R(冷房組込可)	

■ 取付けの前に

次の部品が梱包されておりますので、お確かめください。

No.	品名	個数	用途	備考
1	給排気筒	1	屋外から空気を取り入れ排気ガスを屋外に出します。(壁に取りつける)	フランジパッキン1個付 排気口キャップ1個付
2	タッピンネジ (ST1T φ4×20)	3	給排気筒取付用ネジ	
3	伸縮エルボ	1	本体排気口に取りつける	
4	排気筒押え板A	2	伸縮エルボ本体固定用	
5	排気筒押え板B	2	伸縮エルボ本体固定用	
6	タッピンネジ (ST2T φ4×8)	2	排気筒押え板止めネジ	
7	排気カバー	1	伸縮エルボにはめる	
8	ストッパー	1	伸縮エルボと給排気筒との抜け止め	
9	給気ホース	1	給排気筒と本体給気口を接続	
10	ゴムジョイント	2	給気ホースと組合せて使用	
11	ホース締金具	2	ゴムジョイントが抜けないように固定する。	
12	タッピンネジ (ST2T φ4×20)	2	ホース締金具用ネジ	
13	木ネジ (φ6.2×30)	2	L金具壁面固定用ネジ	

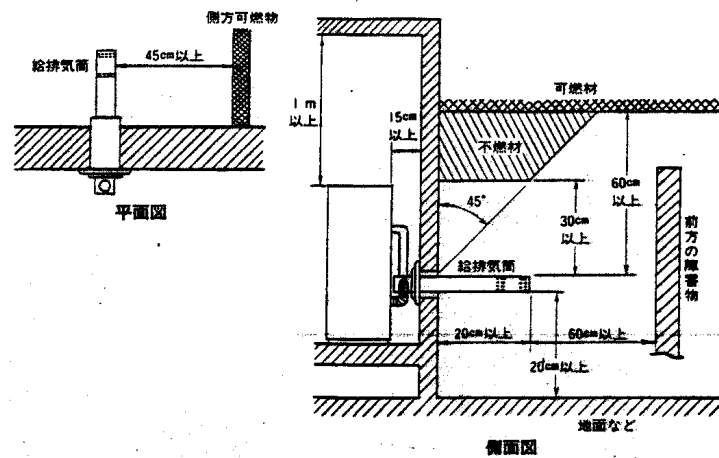
壁スリーブを使用する時は別売り壁スリーブを使用してください。

■ 据付工事は専門技術が必要ですので販売店に依頼し、お客様自身が行なわないでください。

給排気筒の取付け

1 給排気筒の標準取付寸法

■ 給排気筒の標準取付寸法は下図を満足させる位置に取付ける。



- 給排気筒と上方障害物との距離は60cm以上(不燃性の場合は30cm以上、図参照)あること。
- 側方障害物は両側にあってよいが、給排気筒と障害物との距離は45cm以上あること。
- 前方に塀や建物がある場合は、給排気筒と前方障害物との距離は60cm以上(不燃性の場合は15cm以上)離し、かつ上方および側方に気流を阻止する障害物が無いこと。

2 給排気筒据付場所の選定

1. 給排気筒は外気に通じる壁、または窓に取付けてください。

2. 給排気筒が床下、天井を貫通しなければ取付けられない場所は絶対におやめください。

3. 給排気筒は集合煙突には絶対に取付けないでください。

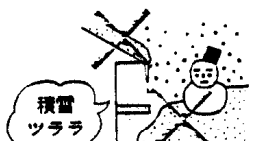
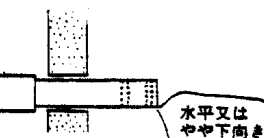
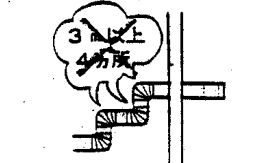
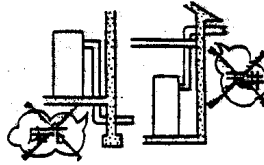
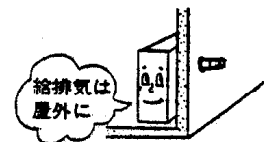
4. 本体から給排気筒までの延長管の長さが3m、曲がり箇所が3ヶ所を越えるところには据付けないでください。延長部分が長すぎたり、曲がりが多すぎると、給排気筒のバランスがくずれ、異常燃焼することがあります。

5. 壁に穴をあける場合は、壁の内部にある電気配線、ガス、水道の配管にあたるおそれのないところを選んでください。給排気筒が水平又は下向きになる様にしてください。

6. 人通りの激しいところや、雪や風の吹きだまりになるような場所、ツララの真下になるようなところには取付けないでください。

7. 給排気筒の周囲や近くに危険物や障害物のないところを選んでください。

8. 湿気の多い場所はさけてください。



3 給排気筒の取付け

■ 標準給排気方式

■ 壁穴位置

標準給排気方式(壁直結)は別売付属品給排気筒キットを使用した取付け方法です。標準給排気方式以外にも部屋の条件によって、窓などを利用したり排気管と給気管を延長したりして取付けることができます。

(ただし延長限度は3mで曲がり3ヶ所以内です。)

詳しくはお買い求めの販売店にご相談ください。

冷房ユニット組込みの時は冷媒配管・ドレン配管などの壁穴の位置もとれる場所を選んでください。

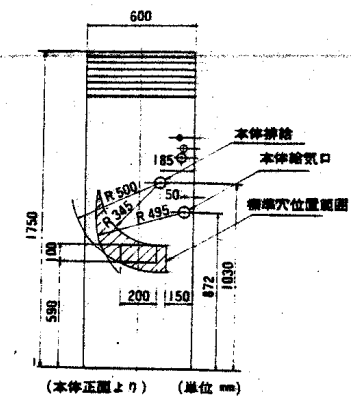
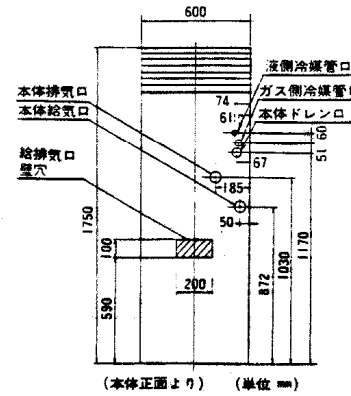
■ 壁の中心部に間柱または、屋外に障害物がある場合は、穴あけ前に確認し穴あけ位置を決定してください。

■ 壁穴位置が右図の範囲であれば標準給排気方式の工事が可能です。

※穴の中心が斜線範囲に入るようにしてください。

■ 穴の大きさは直径90mmです。

■ メガネ石を用いる場合は、メガネ石に合った寸法にしてください。(3寸5分用メガネ石が適当です。)



■ ご注意

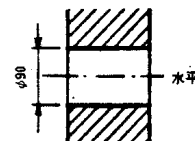
■ 2台以上据付ける場合は、各々の給排気筒穴の間隔は、排気筒の給気口への吸込みによる不完全燃焼を防止するため、必ず50cm以上離してください。

■ 壁穴あけ

■ 壁に穴をあける前にスジカイ・柱・外壁の条件・ガス管・水道管・電線など壁内部の点検を行なってください。

■ 給排気筒穴をホールコアドリルによりあけてください。

給排気筒用壁穴



■ 給排気筒トップの取付け

給排気筒を壁に取付ける。

■ ご注意

■ 給排気筒は必ず水平又は、やや下向きに取り付けてください。給排気筒が上向きになったり、給排気筒の取付けが逆になりますと、雨水などが給排気筒に入り込み逆流してカスタムヒーターをいためます。

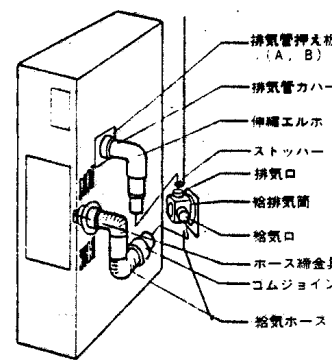
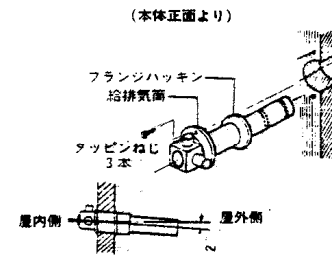
排気側、給気側の配管を接続します。

(排気側)

■ 本体に伸縮エルボを差し込み排気筒押え板(A、B)で固定し、排気筒カバーを入れ給排気筒の排気口にはめ込み接続します。ストッパーをはめ込みます。

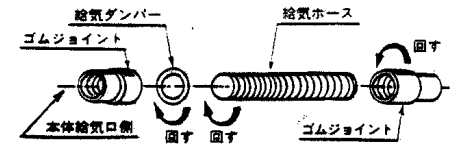
(給気側)

■ 給気ホースとゴムジョイントを接続します。ゴムジョイントを、本体の給気口に接続しホース締金具と給気ホース押え板で本体に固定します。もう一方のゴムジョイント口を給排気筒の給気口に接続しホース締金具で固定します。



■ ご注意

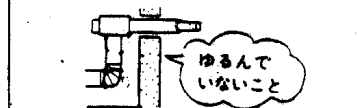
■ 給気ホースが長過ぎるようでしたら、切断して適当な長さにしてください。給気ホースはナイフで切り込み、補強の針金はニッパーなどで切断し、針金はホースの内側に折り曲げてください。電源周波数が60Hzの場合には必ずゴムジョイントにカスタムヒーター本体裏側に添付してあります給気ダンパーを取付けてください。(下図参照)



■ 給排気筒(管・ホース)などの点検

取付けが終わりましたら、もう一度下の図を参考にして点検してください。×印のような取付けは危険であり、不完全燃焼をおこすおそれがありますので、必ず修理してください。

1. 可燃物、カーテン、洗たく物などが給排気筒に接触していないこと。



3. 給排気筒は必ず屋外に出ていること。



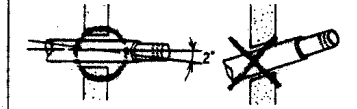
4. 排気管が可燃壁に接近したり、貫通している場合は断熱されていること。



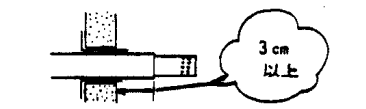
5. 床下を貫通したり、床下に排気したりしていないこと。



6. 給排気筒の取付けがより勾配になっていないこと。



7. 給排気筒の先端が規定寸法以上になっていること。



8. 延長距離は3m以下のこと。曲がり3ヶ所以下のこと。



9. 給排気筒の近くに障害物がない。



10. 給排気筒の近くに危険物がないこと。

